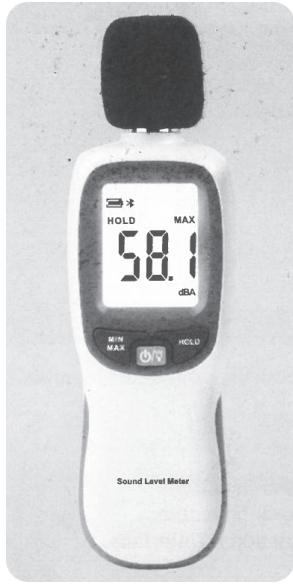


騒音計 取扱説明書

- 一般タイプ
- BLUETOOTHタイプ



(Bluetoothバージョンのみ)
iOS版: QRコードをスキャンして
「dB-tester」アプリをダウンロードしてください。



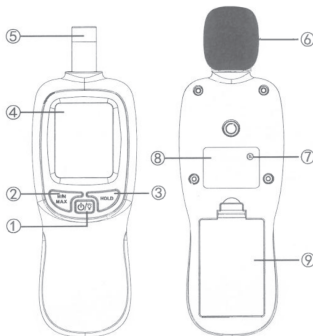
(Bluetoothバージョンのみ)
Android版: QRコードをスキャンし、
「dB-Tester App」アプリをダウンロードしてください。



(Bluetoothバージョンのみ)
Android版: QRコードをスキャンし、
Google Playから「dB-Tester」
アプリをダウンロードしてください。

C. 各部分の名称 (図2を参照)

- ① 電源スイッチ/バックライト電源
- ② 最大値/最小値ホルード
- ③ 測定データホルード
- ④ 液晶ディスプレイ
- ⑤ 電気コンデンサーマイクロフォン
- ⑥ ポール風防カーバー
- ⑦ 校正ノブ
- ⑧ 機械スティック
- ⑨ 電池カバー



D. 画面表示 (図3を参照)

- ① 電池残量表示
- ② Bluetooth
- ③ OVER警告表示/計測範囲を超える読み取り値
- ④ データホルード
- ⑤ 最小音量値
- ⑥ 最大音量値
- ⑦ 音量の読み取り値
- ⑧ 音量の単位 (A特性周波数重み付け)

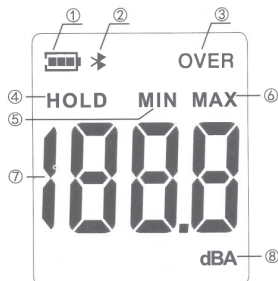


図3

A. はじめに

この度は、騒音計(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は小型で持ち運びやすいように設計されています。なお、アプリはBluetoothバージョンのみ対応になっております。デジタル騒音計は、騒音工学、品質管理、健康予防、各種環境騒音などの測定に適用され、工場、オフィス、交通路、家庭、ステレオ機器など、さまざまな場所での騒音測定が可能となっております。

製品機能:

- Bluetoothを通じて計測器と専用アプリ連携させて、騒音の録音、最大20,000件のデータを記録することができます。
- 音量測定機能 (dBA)。
- 最小/最大/現在値のロック機能。
- 計測データのホルード機能。
- LCDバックライト機能。
- 手動/オートパワーオフ機能。
- バックライトによる警告表示。

B. 校正方法

*94dB@1 KHzの標準音源を使用してください。

- 標準音源 (94dB@1 KHz) の1/2インチの差込口にマイクヘッドを差し込んでください。
- 標準音源 (94dB@1 KHz) の電源スイッチを入れ、機械の先端にある開口部に直径のあるドライバを使用してポテンショメータを調整し、LCDに94.0と表示されるようにしてください (図1を参照)。

*計器は適切に調整されています。一年間隔で手動校正することをお勧めします。オーディオソースがない場合はポテンショメータを調整しないでください。(本製品には音響校正器が付属していません。)

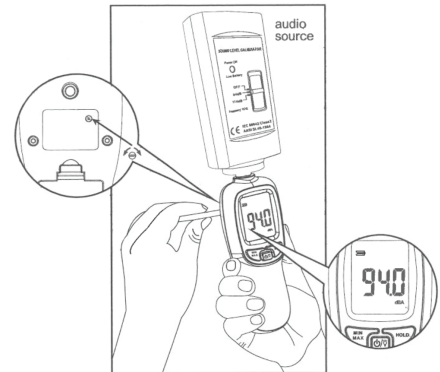


図1: オーディオソースの校正図

E. 操作説明

- 電池カバーを開け、1.5Vの単4電池3本をいれてください (図4を参照)。
- 電池カバーを閉じてください。

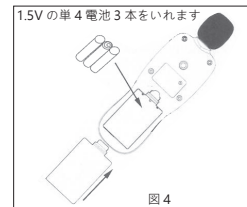


図4

- 騒音レベルを読み取り:
電源ボタン「ON」を押すと、LCDパネルが1秒間全画面表示になった後、現在の環境騒音の騒音レベル値が表示され、測定値は環境騒音の大きさに応じて変化します。
- 最小騒音値をロック:
「MIN」を押すと、「MIN」測定モードに入ります。現在の測定値がロックされ、最小値が表示されて現在の測定値に置き換わるまでロックされます。
- 最大騒音値をロック:
「MAX」をもう一度押すと「MAX」測定モードに入ります。現在の測定値がロックされ、最大値が表示されて現在の値に置き換わるまでロックされます。もう一度「ON」を押すと測定モードに戻ります。
- 測定データホルード:
「HOLD」を押すと現在の測定値がロックされ、もう一度「ON」を押すとロックが解除されます。
- LCDバックライトの操作:
「ON」を短押しすると、LCDバックライトがオンになり、もう一度「ON」を短押しすると、LCDバックライトがオフになります。
- オートパワーオフ:
デフォルトでは、何も操作しないまま10分間経過すると計器の電源が自動的にパワーオフになります。また、「ON」を2秒間押し続けると計器は手動でパワーオフすることができます。計器の電源が入っているときに「ON」を3秒間押し続けると、画面に「UOF」が表示され、オートパワーオフ機能が停止されるため、電源を切る際には手動でおこなってください。
- バックライト警告設定:
A. 電源を入れた後、Holdボタンを押して、LCD画面に「HOLD」が表示されるまで長押ししてください。
B. ボタンを約2秒間押し続け、計器の電源をオフにしてください。LCD画面の右下に表示されるdBAが消えると、警告設定インターフェースが準備完了になります。
C. Min/MaxボタンとHoldボタンを押すと、警告値を増減できます。
D. 電源ボタンを押すと、設定した警告値が保存され、測定モードに戻ります。現在の測定値が設定された警告値を超える場合、バックライトが点滅します。


10. Bluetooth機能:

計器を起動した後、HOLDボタンを約2秒間長押ししてBluetoothをオン/オフにしてください。Bluetoothがオンの場合、Bluetoothのアイコンが画面に表示されます。この時点で、騒音計はアプリと接続することができ、計測および記録された騒音値をリアルタイムでスマートフォンの専用アプリに表示されます。

11. 記録機能:

計器を起動した後、MAX/MINボタンを約2秒間長押しして記録機能をオン/オフにしてください。記録機能がオンの場合、画面にdbの文字が点滅します。計器はデフォルトで1秒ごとに1つのデータを記録し、最大で20,000件のデータを記録することができます。データ記録が上限になると、自動的に記録を停止し、dbの文字は点滅しなくなります。記録されたデータをスマートフォンの専用アプリに転送することができます。また、アプリでの記録機能の開始または停止することもできます。

F. 注意

1. 電池残量が不足している場合、LCD画面に「
2. 本器を高温多湿の環境で使用しないでください。
3. 長期間使用しない場合は、電解液の漏れや計器の破損を防止するため、電池を取り出してください。
4. 屋外で騒音を測定する場合は、マイクが直接風に当たり他の騒音を測定したりしないように、マイクの先端にボール風防カバーを取り付けてください。

製品のメンテナンス: 定期的に乾いた布で計器を清掃してください。なお、溶剤を使った清掃はご遠慮ください。

G. 製品仕様

測定範囲	30-130dB
精度	±1.5dB
周波数応答	31.5Hz-8KHz
周波数重み付け機能	A特性周波数重み付け
解像度	0.1dB
作業温度・湿度	0~40°C、10~80%RH
保存温度・湿度	-10~60°C、0~90%RH
電源	1.5V単4電池3本
重量	96.38g(電池抜き)
外形寸法	56.1*177*36.03mm

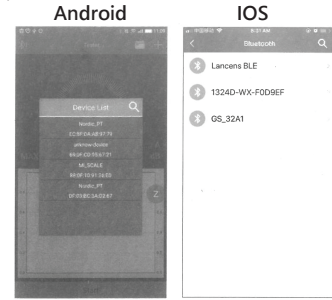
保証規定

お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。なお、本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

-4-

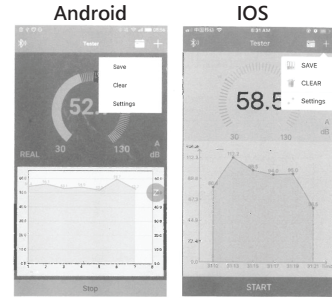
H. Android、iOS「dB-Tester」アプリ操作説明




I. Bluetooth接続:



1. メイン画面の左上隅にあるBluetoothアイコンをタップすると、Bluetooth接続画面が表示されます。
2. 画面の右上隅をクリックしてBluetoothデバイスの検索を開始してください。画面に表示されるまで5秒程かかります。
3. 接続したいデバイスを選択してください。

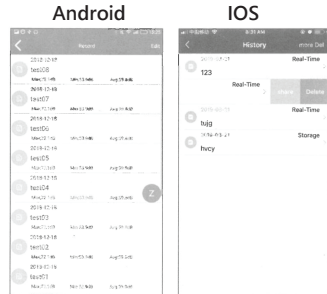
II. ホーム画面:



1.  ボタン: タップするとBluetooth接続画面が表示されます。
2.  ボタン:
Save (保存): データをリアルタイムで保存する。
Clear (クリア): データをリアルタイムでクリアにする。
Settings (設定): 設定画面
3.  ボタン: ドキュメントフォルダー。
4. Start (開始) ボタン: データをリアルタイムでサンプリングします。
5. 画面の上半部分にはリアルタイムの騒音値が表示されます。
6. 画面の下半部分にはリアルタイムの騒音値をチャートで表示されます。

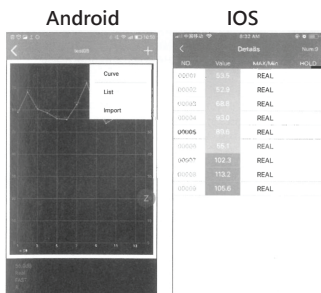
-5-

III. ドキュメントフォルダー




1. 「Edit」(編集) ボタンをタップして、複数の選択項目を同時に削除できます。
2. データをタップして、詳しい情報が表示されます。
3. 「Multiple delete」(複数削除) ボタンをタップし、削除したい項目を選択してください。
4. データをタップして、詳しい情報が表示されます。
5. 左側にスライダーし、履歴データの削除、第三者と共有することが出来ます。
6. 履歴データには、リアルタイムデータと保存されたデータの2種類があります(ホームページに保存されたデータは「リアルタイムデータ」と表示され、設定ページに保存されたデータは「保存状態」と表示されます)。

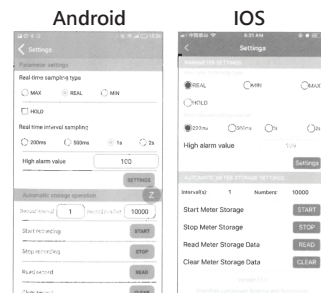
IV. 詳細データ



-6-

1. データグラフは画像の通りになります。
2.  ボタン:
Curve (カーブ): データグラフに切り替えます。
List (リスト): データリストに切り替えます。
Export (エクスポート): データをExcelやPDF形式でスマートフォンにエクスポートして保存できます。
3. このページはデータをリストとして表示し、保存されたデータもリストに表示されます。
4. MAX/MINは最大値と最小値の状態を表します。「HOLD」は「データ保持」状態にあるかどうかを示します。Yesの場合はHOLDが表示されます、Noの場合は空白になります。

V. 設定



1. パラメータ設定: リアルタイムサンプリングの種類、リアルタイムサンプリングの間隔、アラーム値の設定。
2. 自動保存操作:
Interval (記録間隔): 自動保存の時間間隔。
Number (記録数): 自動保存されるデータの数。
Start (開始): 自動保存を開始する。
Stop (停止): 自動保存を停止する。
Read (読み取り): 自動保存されたデータを読み取る。
Clear (クリア): 自動保存されたデータをクリアにする。
3. ファイル管理: スマートフォンにエクスポートされたExcelとPDFドキュメントを確認する。

注意: iOS版では、エクスポートされたファイルをローカルファイルに表示するには、「Files」アプリからアクセスできます。

-7-